

2015年度 中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	教授
氏名	山口 真美		
NAME	YAMAGUCHI Masami		

1. 研究課題

(和文) 顔認知の多様性的実験的検討

(英文)

2. 研究期間

2年間

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600字程度、英文 50word程度）

(和文)

生まれつき顔を見る能力の弱い「発達性相貌失認」について、その学習メカニズムや脳内機能を探る実験的検討を行なった。発達過程を検討するため、乳幼児を対象にした認知実験と NIRS（近赤外分光法）を用いた脳計測の検討を行った。顔を見る脳力の特化は、よく見た顔の学習に集中すること（**Perceptual narrowing** 知覚的狭小化）にあることから、イタリアのミラノピッコカ大学と共同でこの現象を探る検討を行った。その結果、生後7ヶ月でよくみた顔（大人の顔）に特化する脳活動が顔認識領域に確認され、本成果論文として発表した。また現在も、NIRS（近赤外分光法）を用いた乳児の顔認知脳力を探る実験的研究（マガーグ効果や顔と身体領域の脳活動の検討）は継続中である。これまでの成果は、日本基礎心理学会・視覚学会や **Vision Science Society** などでも発表し、日本赤ちゃん学会や視覚学会ではシンポジウムを主催した。さらに本成果をまとめる形で、ジュニア向けの一般書、岩波ジュニア新書「自分の顔が好きですか？「顔」の心理学」を出版した。なお本書は昨年度の入試問題（主に中学入試）で15校以上採用されている。

(英文)